

編集後記

第一五七号につき中・近世の最近の考古学成果を中心に組んでみた。論説は、当初他の原稿を予定していたが、急遽渋谷の原稿を入れざるを得なくなった。舌たらずの文章となり心苦しい限りである。

調査報告は、大分県教育委員会が平成七年度から実施している県内中世城館の調査が四年次をむかえたが、当初から担当している小柳氏にこれまでの成果等をお願いした。中世城館に関する情報等はぜひ連絡をお願いしたい。また、大分市では大分駅周辺再開発計画に伴い発掘調査が実施されているが、中世大友城下町関連遺跡が相次ぎ発見されている。今後の調査の進展により、これまでなぞとされてきた大友城下の再現が大いに期待されるようになった。吉田氏には、第一五七号以来追加された日田市の中世墓についてお願いした。いずれも今後の調査研究が期待される。史料紹介はわが国の代表的本草学者賀来飛霞の書翰である。西岡氏を煩わした。